

2019 年強化指定選手選考規程

一般社団法人日本障がい者バドミントン連盟
強化委員会

(目的)

第1条 一般社団法人日本障がい者バドミントン連盟（以下「JPBF」という。）定款第45条に基づいて設置された、強化委員会の選考基準について以下に定める。

1. 2019 年強化指定選手の選考について

日本障がい者バドミントン連盟・強化委員会において、選手選考基準を明確で、透明性のあるものにするため、下記のとおり、2020 東京パラリンピックでの好成績を収めることを主眼に、2019 年強化指定選手の選考方法および選考基準を定める。

2. 2019 年国際大会派遣における JPBF の目標について

- ・入賞率（種目別ベスト8入賞数/派遣選手数×100）が80%となること。
- ・メダル獲得率（種目別メダル獲得数/派遣選手数×100）が60%以上となること。

(2019 年強化指定選手選考基準)

第2条 2019 年強化指定選手の選考にあたっては、下記事項に基づいて厳正に審査し、決定する。

- 1) 2018 年日本選手権にエントリーする者
- 2) -1 平成30年度強化指定選手または、第1条2項の目標を達成できると強化委員会が判断し推薦できる者
- 2) -2 強化委員会は、コーチによるパフォーマンス評価を基に、該当種目の世界ランキング上位選手と競うことのできるかどうかを協議・判断する。
- 3) 渡航も含む海外での集団生活における自己管理及び医学的観点から、日本代表選手として推薦できる者

(方法)

第3条 上記の目的を達成するために、下記のように2019 年強化指定選手を選考する。

1. 2019 年強化指定選手選考方法

- 1) 『平成30年度強化指定選手』から2019 年強化指定選手候補者を選出する
- 2) 『平成30年度強化指定選手』以外で、上記目標を達成できる選手候補者を強化委員会にて選出する
- 3) 強化委員会にて、上記1), 2)より2019 年強化指定選手候補者表（種目別）を作成し、理事会に申請する
- 4) 理事会にて、2019 年強化指定選手候補者表（種目別）に基づき審議し、2019 年強化指定選手を決定する
- 5) 上記審議を経て、2018 年日本選手権大会終了後に2019 年強化指定選手を発表

する

(不服申し立て)

第 4 条 選手選考決定に対する不服申し立ては、日本スポーツ仲裁機構「スポーツ仲裁規則」に従ってなされる仲裁にて解決されるものとする。

附 則

施行日 2018 年 11 月 1 日

強化委員会構成員

| | 氏 名 |
|------|-------|
| 委員長 | 古屋 貴啓 |
| 副委員長 | 藁科 侑希 |
| | 金 正子 |
| | 内蘭 幸亮 |
| | 中島 義仁 |
| | 山崎 将幸 |
| | 谷藤 千香 |